

## <プロジェクト概要>

白川町は、岐阜県東南に位置し飛騨と境を接している。森林面積は町全体の88%を占めており、町有林約422haの内、約60haを本プロジェクトへ活用することにより、健全な森林を育てるとともに、間伐によるCO2の吸収量の増大を図ります。今回のJ-VERクレジット発行で得た資金により、更なる森林づくりを進めていきます。

プロジェクトの実施場所	岐阜県白川町
吸収量(予測)	年間 167 t-CO2
在庫量(24年6月時点)	586 t-CO2
クレジットの次回発行予定	平成25年4月
1t-CO2あたりの希望単価	¥10,000. -

## 【森林吸収プロジェクトPR】

白川町は、清流と美しい森林が織りなす山紫水明な町です。その豊かな自然からは、良質な建築材「東濃ひのき」(写真1)や、香が高く味わい深い「美濃白川茶」(写真2)が育っています。

しかし、近年の林業をめぐる情勢から、従来の生産活動を維持していくことが厳しくなっています。

このような状況の中で、J-VERクレジットの発行で得た資金により、更なる森林づくりを進めて、継続可能な森林経営を行っていくことで、森林の多面的機能の維持に貢献できると考えています。

また、町が率先してJ-VER制度をモデル的に取り組むことにより、町内の民間団体等への普及啓発を図るだけでなく、町民による森林整備や環境意識の高揚を促進し、近年取り組みの始まった「企業との協働による森林づくり」(写真3)と相互に活動を行うことで、更なる中山間地域の活性化と、CSR・企業イメージの向上に寄与できると考えています。

清流と森林の様子(佐見川峡)



(写真1)東濃ひのき



(写真2)美濃白川茶

(写真3) 企業との協働による森林づくり

